

重要情報シート（個別商品編）

2025年5月版

1. 商品等の内容	
金融商品の名称・種類	百十四為替特約付外貨定期預金
販売会社	株式会社 百十四銀行
金融商品の目的・機能	・外貨定期預金に為替特約（円貨償還特約）を組み合わせることにより、為替変動リスクを一定の範囲内で回避しつつ、円ベースでの高利回りを目指す商品です。 ・お申込代金は円貨ですが、為替相場の動向により、満期日に元本とその利息を円貨又は外貨でお受取りいただきます。 ・元利金が円貨でのお受取りとなった場合（円貨償還）、円安メリット（為替差益）を享受することは出来ません。また、外貨でのお受取りとなった場合（外貨償還）、外貨元利金の円換算額が当初の円貨でのお預入れ額を下回る（円ベースで元本割れとなる）リスクがあります。 ・なお、リスクの詳細は、「2.リスクと運用実績」に記載しています。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	・短期間の取引で通常の円貨定期預金よりも高い利回りを目指すお客さま ・為替相場が一定の範囲を超えて円高にならないとの見通しをお持ちのお客さま ・一定の範囲を超えて円高となった場合の元本割れリスクを許容できる余裕資産を十分に保有されているお客さま ・なお、為替変動による元本割れリスク（本商品の為替相場の変動による影響）については、「2. リスクと運用実績」をご確認ください。 ・満期までこの預金を保有いただけるお客さま（原則として満期日前に解約することはできません） ・この預金は外貨定期預金にオプション取引等のデリバティブ取引を組み込んだ複雑な商品のため、投資経験や知識が十分でない方に適した商品とは言えません。 ・為替相場が円安になるとの見通しをお持ちで、為替差益を享受されたいお客さまには不向きな商品です。長期の安定的な資産形成を目的とするお客さまは、お預入れの都度、この預金が入包するリスクやリターンがご自身の投資方針に合致しているかの十分な検討が必要です。
パッケージ化の有無	・この商品は外貨定期預金に為替特約を組み合わせた商品です。 ・為替特約を個別の金融商品として購入することはできません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。
次のようなご質問があればお問い合わせください。	・あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。 ・この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。

2. リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）							
損失が生じるリスクの内容	【預金保険】 ・この預金は預金保険の対象外です。なお、円貨でお受取りとなった場合は、預金保険の対象となり、他の預金等と合算して元本1,000万円まで保護されます。 【為替変動リスク】 ・「判定日為替相場」（満期日2営業日前の東京時間午後3時の為替相場）が、預入日に決定した「ノックアウトレート」より円安の場合（円貨償還）、満期日に元利金を「特約レート（＝預入時為替相場）」で円貨に転換のうえ、お支払いいたします。なお、満期日の為替相場（TTBレート）が「特約レート」より円安の場合、その時点の市場実勢相場で円貨に転換する場合と比較して、不利な条件で円貨に転換されることとなります。 ・「判定日為替相場」（満期日2営業日前の東京時間午後3時の為替相場）が、預入日に決定した「ノックアウトレート」と同値またはそれ以上の円高の場合（外貨償還）、満期日に元利金を外貨でお支払いいたします。その場合、満期日時点で円換算した金額は、元本を下回る可能性が高いと考えられます。 【中途解約】 ・原則として中途解約はできません。当行がやむを得ないものと認めて中途解約に応じる場合、預入日から中途解約日までの適用利率は解約日における外貨普通預金利率となります。 - また、当行所定の方法により算出した違約金（円貨）を直ちにお支払いいただけます。この場合、解約元利金から違約金を差し引いた金額が、当初お預入れの元本金額を下回る（円ベースでの元本割れとなる）可能性があります。						
運用のイメージ図 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ケース</th><th>満期時受取方法</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① または ②</td><td>円貨償還 元利金は円貨でのお受取りとなります。 ①のケースの場合、為替差益は発生しません。 ②のケースの場合、為替差損（円貨での元本割れ）を回避できます。</td></tr> <tr> <td>③ または ④</td><td>外貨償還 元利金は外貨でのお受取りとなります。 ※円貨換算すると元本割れの状態となります。</td></tr> </tbody> </table>		ケース	満期時受取方法	① または ②	円貨償還 元利金は円貨でのお受取りとなります。 ①のケースの場合、為替差益は発生しません。 ②のケースの場合、為替差損（円貨での元本割れ）を回避できます。	③ または ④	外貨償還 元利金は外貨でのお受取りとなります。 ※円貨換算すると元本割れの状態となります。
ケース	満期時受取方法						
① または ②	円貨償還 元利金は円貨でのお受取りとなります。 ①のケースの場合、為替差益は発生しません。 ②のケースの場合、為替差損（円貨での元本割れ）を回避できます。						
③ または ④	外貨償還 元利金は外貨でのお受取りとなります。 ※円貨換算すると元本割れの状態となります。						

〔参考〕 想定最大損失額	・2008年9月に発生した、いわゆる「リーマンショック」時にドル・円相場は107.95円（2008年9月15日）から87.15円（2008年12月17日）へ下落しました（20.80円の円高）。また、過去10年間のドル・円相場の変動幅（2025年3月31日時点で当行が保有する為替相場の推移データに基づき算出した、保有期間を1年とした場合の変動幅）は約20円となっております。 ・これらのことより、当行が合理的と考える「最悪のシナリオ」は 為替相場が25円円高へ変動（※）したケースとしております。この預金の元利金が満期時に外貨償還となり、満期日に外貨から円貨に転換することを想定した場合の想定最大損失額（10,000米ドル当たり）は以下の通りです。 ※為替相場の変動幅は、当行が合理的に発生し得ると判断したもので、将来の変動幅を保証もしくは予想するものではなく、実際の値動きはこのシナリオを超える可能性があることにご注意ください。 【10,000米ドル当りの想定最大損失額】 <table><tr><th>①預入金額</th><th>②為替相場 変動幅</th><th>③TT幅(※)</th><th>想定最大損失額 [① x (②+③)]</th></tr><tr><td>10,000米ドル</td><td>▲25円</td><td>▲1円</td><td>▲260,000円</td></tr></table> ※TT幅とは、TTBレート（外貨から円貨に交換するレート）と公示仲値との差で（米ドルの場合▲1円）、通貨によって異なります。	①預入金額	②為替相場 変動幅	③TT幅(※)	想定最大損失額 [① x (②+③)]	10,000米ドル	▲25円	▲1円	▲260,000円																												
①預入金額	②為替相場 変動幅	③TT幅(※)	想定最大損失額 [① x (②+③)]																																		
10,000米ドル	▲25円	▲1円	▲260,000円																																		
〔参考〕 過去1年間の利回り	2024年4月1日から2025年3月31日までの間に組成したこの預金(主なノックアウト幅)の利回り(税引前)は以下の通りです。 【米ドル】 <table><tr><th>預入期間</th><th>ノックアウト幅</th><th>最低利回り</th><th>最高利回り</th><th>平均利回り</th></tr><tr><td rowspan="3">3ヶ月</td><td>6.0円</td><td>3.000%</td><td>3.000%</td><td>3.000%</td></tr><tr><td>9.0円</td><td>3.250%</td><td>3.500%</td><td>3.375%</td></tr><tr><td>11.0円</td><td>3.000%</td><td>3.250%</td><td>3.083%</td></tr></table>	預入期間	ノックアウト幅	最低利回り	最高利回り	平均利回り	3ヶ月	6.0円	3.000%	3.000%	3.000%	9.0円	3.250%	3.500%	3.375%	11.0円	3.000%	3.250%	3.083%																		
預入期間	ノックアウト幅	最低利回り	最高利回り	平均利回り																																	
3ヶ月	6.0円	3.000%	3.000%	3.000%																																	
	9.0円	3.250%	3.500%	3.375%																																	
	11.0円	3.000%	3.250%	3.083%																																	
〔参考〕 過去 5 年間の判定結果 (外貨償還回数)	2020年4月1日から2025年3月31日までの間に組成したこの預金の判定結果は以下の通りです。 【米ドル】 <table><tr><th></th><th>募集回数</th><th>平均ノックアウト幅</th><th>円貨償還回数</th><th>外貨償還回数</th><th>外貨償還割合</th></tr><tr><td>2020年度</td><td>24回</td><td>4.0円</td><td>24回</td><td>0回</td><td>0.0%</td></tr><tr><td>2021年度</td><td>24回</td><td>3.8円</td><td>24回</td><td>0回</td><td>0.0%</td></tr><tr><td>2022年度</td><td>27回</td><td>7.8円</td><td>22回</td><td>5回</td><td>18.5%</td></tr><tr><td>2023年度</td><td>18回</td><td>7.7円</td><td>18回</td><td>0回</td><td>0.0%</td></tr><tr><td>2024年度</td><td>14回</td><td>9.3円</td><td>8回</td><td>2回</td><td>20.0%</td></tr></table> ※2024年度の募集回数には満期未到来分(4回)を含むため、募集回数(14回)≠償還回数(10回)となっています。		募集回数	平均ノックアウト幅	円貨償還回数	外貨償還回数	外貨償還割合	2020年度	24回	4.0円	24回	0回	0.0%	2021年度	24回	3.8円	24回	0回	0.0%	2022年度	27回	7.8円	22回	5回	18.5%	2023年度	18回	7.7円	18回	0回	0.0%	2024年度	14回	9.3円	8回	2回	20.0%
	募集回数	平均ノックアウト幅	円貨償還回数	外貨償還回数	外貨償還割合																																
2020年度	24回	4.0円	24回	0回	0.0%																																
2021年度	24回	3.8円	24回	0回	0.0%																																
2022年度	27回	7.8円	22回	5回	18.5%																																
2023年度	18回	7.7円	18回	0回	0.0%																																
2024年度	14回	9.3円	8回	2回	20.0%																																

※損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面に記載しています。

次のようなご質問があれば
お問い合わせください。

- ・上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
- ・相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。
- ・利回りと損失リスクについて、いくつかの例を踏まえて説明してほしい。

3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

費用等について	・購入時に、預入金額とは別にお支払いいただく費用はございません。 ・ただし、当行は収受するオプション料の中から、この預金の販売に係る諸経費やアフターフォローの対価等を含む販売役務の対価相当額（販売手数料）を差し引いたうえで募集条件（金利及び為替特約）を設定します。 ・2024年4月1日から2025年3月31日までの間に組成したこの預金のお預入れ毎の販売手数料（平均）は、以下の通りです。 <table> <tr> <td>平均販売手数料</td><td>0.584%</td></tr> </table> ・満期時に外貨償還となり、その外貨を円貨に交換する場合は、TTBレートを適用します。 TTBレートには、公示仲値との差（例えば、米ドルであれば1米ドルあたり1円、ユーロであれば1ユーロあたり1円50銭、オーストラリアドルであれば1オーストラリアドルあたり2円、人民元であれば1人民元あたり40銭）が手数料相当額として含まれています。	平均販売手数料	0.584%
平均販売手数料	0.584%		

※費用の詳細は契約締結前交付書面に記載しています。

次のようなご質問があれば
お問い合わせください。

- ・費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

満期日前の解約（中途解約）は原則としてできません。当行がやむを得ず中途解約に応じる場合は、当行所定の違約金をお支払いいただきます。詳細は契約締結前交付書面の「中途解約時のお取り扱い」に記載しています。

次のようなご質問があれば
お問い合わせください。

- ・私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

5. 当社の利益とお客様の利益が反する可能性

当行の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品の販売より高く評価されるような場合はありません。
--

※利益相反の内容とその対処方針については、「利益相反管理方針」（<https://www.114bank.co.jp/policy/profits.html>）をご参照ください。

次のようなご質問があれば
お問い合わせください。

- ・あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。
- ・私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。

6. 租税の概要（NISA、つみたてNISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

- ・ 利子所得は、個人のお客さまは源泉分離課税（国税15.315%、地方税5%）、法人のお客さまは総合課税（国税15.315%）となります。
- ・ お利息はマル優（少額貯蓄非課税制度）の対象外です。
- ・ 外貨償還となり、外貨から円貨に転換した場合、為替差益または為替差損が発生します。

為替差益	〔個人のお客さま〕	雑所得として確定申告による総合課税の対象となります。ただし、年収2,000万円以下の給与所得者の方で為替差益を含めた給与所得以外の所得が年間20万円以下の場合は申告不要です。
	〔法人のお客さま〕	総合課税
為替差損	〔個人のお客さま〕	他の黒字の雑所得から控除できます。他の所得区分との損益通算はできません。
	〔法人のお客さま〕	総合課税

※詳細は契約締結前交付書面に記載しています。

なお、この預金に関する課税上の取扱いについて、詳しくは税理士等の専門家にお問い合わせください。

※この預金は、NISA、つみたてNISA、iDeCoの対象外です。

7. その他参考情報（契約にあたっては、次の書面をよくご覧ください）

当行行員と対面にてお手続きされる場合、契約締結に当たっての注意事項等をまとめた「契約締結前交付書面」を紙でお渡しします。